

敬意

先日、東京ドームにて、元プロ野球選手・元大リーガーである「イチロー選抜 KOBE CHOBEN」チームと「高校（硬式野球）女子選抜」の試合が行われました。今年で4回目となる対決ですが、毎年、イチロー選手は手を抜かず本気で戦うことをモットーとしており、イチロー選手の野球愛を感じていました。そのような中、今年の試合後のインタビューで、とても印象的な話をしていたので、その一部を紹介します。



僕は、この試合で今日また、強烈に感じたんですけど、何が一番好きかって、野球への敬意、女子選手たちの野球への敬意をもっとも感じる試合なんです。僕は、色々なレベルで野球をしてきましたが、これだけの野球への敬意、相手への敬意、チームメイトへの敬意、お客さんに対する感謝の気持ち、これがこれほど詰まった野球を僕は知らないです。だから僕は自分の体が元気である限り、女子野球を応援したいと、今日、心から思いました。みんな本当にありがとう。ナイスプレーでした。

とても素敵な言葉でした。この試合は、野球選手として、普及に努めている活動の一環だと思います。ただ普及だけが目的ではないと感じました。たくさんの功績を残した、これだけ偉大な選手であっても、高校生に対する『敬意』をもち、それを言葉に表しています。同じ『野球』というスポーツでプレイする人に対して、『競技レベル』ではなく、『人』として、『敬意』を示しているところがすごいと思います。心が動かされる、学びの多い、イチロー選手の言葉でした。

☆ 学校でも敬意（思いやり）ある姿が見られました



3年男子のソフトボールでも相手への敬意を感じられました



キャッチボールやサッカーのパスも相手への敬意があってこそです



※ 3年生男女の体育授業の様子です



昼休みには、合唱リーダーが集合しました。よりよい合唱のためには、リーダーの力と敬意がポイントです

※ 今回は若干、『敬意』を乱発しましたが、『思いやり』ある行動は、いつも校内でたくさん見られます。太西星の心はとても温かいです！